

2019・広大マスタースズ出前講座報告

「香りへの招待」

平田 敏文

日 時：2019年 8月 17日 (水) 14:00～15:50

場 所：黒瀬生涯学習センター 会議室 A・B

参加者：27名

東広島市黒瀬図書館が開設している『おとなの雑学講座～夏の巻～』で出前講義を行った。講演では、私たちの暮らしと密接な係わりを持っている“香り”をテーマに、「香りの文化」と「香りの科学」にわけて話した。以下にその概要(レジメ)を記載する。盛りだくさんにいろいろなことを話したので、時間がオーバしてしまったが、最後まで熱心に聞いていただき感謝している。

(A) 香りの文化—“香り”の人間との係り合い

(1) 古代エジプトの香り：「乳香」と「没薬」(香りのルーツを訪ねて)

(2) 日本の香りの文化：万葉集や古今和歌集に詠われた香り，歴史にみる貴重な香り(「竜腦」と「蘭奢待」)



(B) 香りの科学—“香り”とはどのようなものか?

(1) 香料について

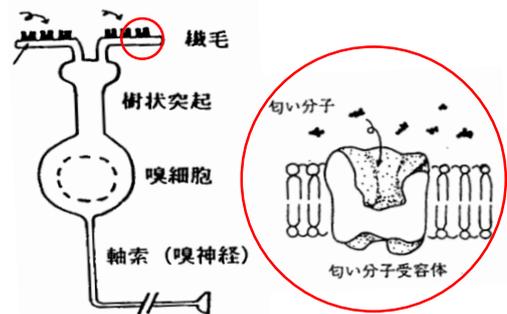
- (a) 植物からの香料：ローズ， ジャスミン， ネロリ
- (b) 動物からの香料：じゃ香， 竜涎香

(2) “香り” を決める化学物質

- (a) 花や食品の香り：薔薇， まったけ， コーヒー， バニラ
- (b) ライオンもうっとりする香り：マタタビ (マタタビラクトン)
- (c) 虫が好かない香り：除虫菊 (ピレトリン)， 楠 (樟脳)

(3) 香りの生理学—生き物にとって“香り”とは何か？

- (a) 香りによる生物のコミュニケーション
 - ・モンシロチョウとキャベツの駆け引き
 - ・鮭の母川回帰
 - ・香りを防御物質として使う虫
- (b) “香り” の認識と記憶
 - ・嗅覚受容体—人間の鼻は蛙なみ
 - ・香りの総合的記憶



(4) アロマテラピー (芳香療法)

- ・嗅覚刺激による間接的な療法
- ・精油を用いる直接的な療法



“香り”の総合的な記憶

